

別表(第4の5の別記様式第15-4号関係)

## 水産業競争力強化緊急施設整備事業事後評価報告書

		静岡県			
目的	①機能再編：積込操作の全自動化による漁業者の便益や必要に応じた氷供給等、規模適正化によるコストの軽減を図ること。 ②地域活性化：製氷施設の更新による機能向上や十分な鮮度保持による品質向上を図ること。				
目標	漁労時間の短縮			1	
事業実施主体	南駿河湾漁業協同組合				
実施地区名	榛南地区／吉田町				
実施期間及び目標年度	実施期間			目標年度	
	令和2-3年度			令和6年度	
助成金額	125,200千円				
事業計画の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規模の適正化によるダウンサイジング化</li> <li>・カード式により必要な時に利用可能な全自動化</li> <li>・製氷積込時間の短縮及び根氷除去作業による漁労時間の短縮</li> </ul>				
評価	取組の目標 (KPI)	生産額の向上			
	基準年	(H28～H30平均)	1,048百万円		
	現状値	(R6年度)	938百万円	増加率	-10.50%
	目標値	(R6年度末)	1,153百万円	増加率	10.01%
	成果目標	自動化によりシラス漁船への氷積込作業の効率化を図る			
	現状値	(R6年度)	2分49秒		
	目標値	(R6年度末)	3分		
	(1) 現状値の説明	生産額は、令和6年度のシラス製品単価・数量を参考に算出した。漁労時間の短縮は、氷積込した時間と積込時間から待ち時間を算出した。			
(2) 地域への経済効果	上質な氷をいつでも提供できることから、高鮮度の加工原魚供給により地域水産業の振興を図った。				
(3) 所見	製氷施設が自動化になったことにより氷の積込み作業が効率化し1隻あたり、33分間の作業時間が短縮した。また、いつでも氷積込みが可能になった為氷のロスが削減された。				
(4) 評価機関への意見等	該当なし				
今後の改善方向等に関する分析	近年、漁獲量の減少により生産額が上向かない中、高鮮度の魚で品質向上を図る。				